

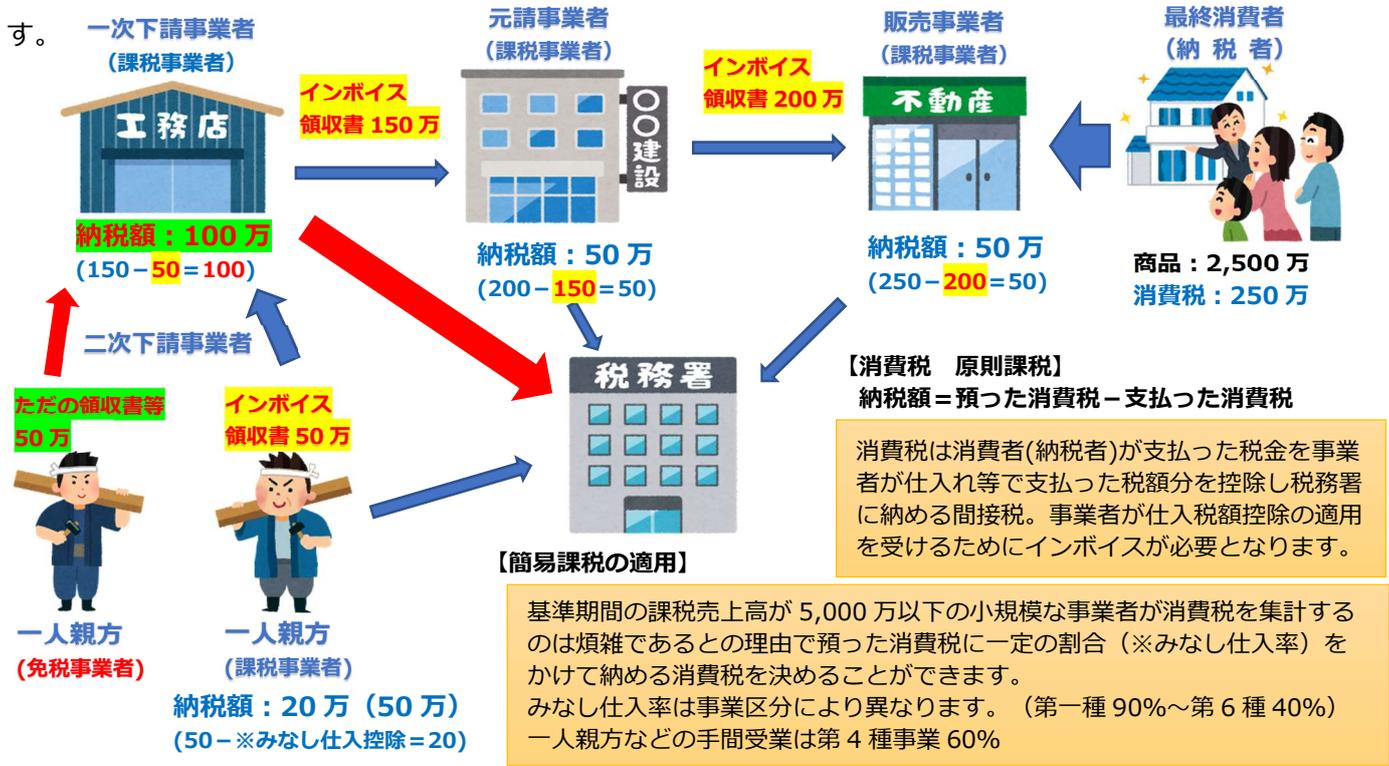


一幸建設は昭和53年の設立以来、三河エリアで地元密着での建築と不動産に携わる会社です。本来ならば直接ご挨拶申し上げるべきところ不躰ではございますが、私どもの会社を知っていただきたいとの思いから、一度でも名刺交換などでご縁を賜りました方に、ニュースレターを送付しております。仕事でかわった皆様にお力添えいただきながら、社員の幸せと日々の成長を糧に、地域の皆様に必要とされる地元でのお役立ち企業を目指しております。東三河での建築と不動産に関することでしたら、小さなことでもお気軽にご相談ください。

代表取締役 山本敬輔 営業スタッフ一同

インボイス制度の中小企業・個人事業主に与える影響について

今月公示となる参議院選挙でも急激な物価高騰により国民生活に影響が及ぶなか、消費税の減税なども一部で議論されていますが、令和5年10月から導入されるインボイス（適格請求書等保存方式）制度が中小企業や個人事業主の経営に与える影響にも注意が必要です。適格請求書発行事業者への登録申請期限も今年度末（令和5年3月31日）に迫っています。既に課税事業者で取引先が一般個人客のみであるとか、課税売上が1,000万円以下の免税事業者であれば適格請求書発行事業者登録をしなくてもよいのではという意見も聞かれますが、インボイスを発行できなければ、単純に販売元が自社が請求した消費税を差し引くことができなくなります。一定の経過措置による仕入税額控除の適用もありますが、結果的に免税事業者など非適格請求書発行事業者と取引した場合は仕入れた側が全て負担することになりますので、取引相手からの排除リスクや事業収益への影響を慎重に見極め、自社の仕入先や販売先に一人でも会社や個人事業主が混ざる可能性があれば、適格請求書発行事業者として登録を検討することはもちろん、制度導入後に向けて対応を準備する必要があります。



弊社の事業に於いては多くの協力業者様、パートナー企業の皆様との取引関係によって成り立っております。インボイス制度への当社の対応についてご不明な点(お取引条件等)などございましたら、遠慮なくお問合せ下さいませようお願い申し上げます。インボイス導入に向けての個別サポートなども行っておりますのでお気軽にご相談下さい。

地元密着東三河での不動産と建築のことなら小さなことでもお気軽にご相談下さい！
※ニュースレターがご不要な場合はお手数ですが 0532-46-9336 まで

建築に関するまつり①

新たに家を建てる、建て替える、取り壊す、など人生において

一大事にあたるといえます。このため私たち日本人は、建物を取り壊す前、新たに家を建てる前、家が完成後など、工事の無事を祈り感謝し、これからの幸せな生活を祈ってきました。建築に関するまつりは多種にわたりますが、そのうちの一部をここで紹介します。

～地鎮祭～

地鎮祭（地祭り）とは、建物を建てる前に土地の氏神様から土地を使用し新築する許可を得る儀式のことです。新築工事が安全に滞りなく行われることなどを祈願します。「日本書紀」に地鎮祭が行われていることが記載されているようで、日本古来から行われている伝統的な儀式です。最近は省略することや簡略化することも少なくありません。



(左から四方祓、地鎮の儀、玉串奉奠、直会の様子)

上の写真は、弊社で行った地鎮祭の様子です。戸建住宅や事業用建物で会場の大きさが異なりますが、式自体の流れは基本的に一緒です。お施主様には四方祓や玉串奉奠など神主さんに倣って行っていただきます。次回は上棟式についてお話したいと思います。

営業・設計 山崎

空き家管理事業

弊社の事業の一つで空き家管理事業があります。日本空き家サ

ポートへ加盟しており、そちらから管理作業の指示、指導をもとにお客様の建物を管理します。基本プランは、月に1回作業を行います。主には、防犯確認、郵便ポストの確認、外回りの清掃、フロアモップにて室内の清掃、通水作業による配管の確認、室内の点検、通風などになります。いくつかの場面で、写真、動画を撮影してお客様にデータを送り確認をしていただきます。

現在対応させていただいている方のほとんどは海外出張の方で、「遠方でもご自宅の様子が確認できて助かります」とお話をいただいています。夏場など暑くなってくると雑草がたくさん生えてきますので、1ヶ月おきでも作業をやる前とやる後では違い、きれいな状態を保つことができます。

何もしていない空き家になると不思議と建物の傷みが早く進むように感じます。人が出入りしていたり、風を通したりするだけでも建物の状態を保つには大切なことだと思います。せっかくの資産ですので、次に何か活用する予定がまだ決まっていなくてもメンテナンスをすることは大切だと思います。弊社は色々な状況に合わせて対応できますのでぜひ一度ご相談ください。



建築不動産営業 筒井